

「ほうじょう」コラム

題 サポートスーツの試験的運用について

朝晩は秋の気配がしますが、日中はまだ暑いです。
気温の寒暖差が大きくなっていますので、体調管理に十分気を付けて下さい。

さて、表題の件ですが、船上作業というものは、かなり腰に負担が掛かる作業なのです。
作業者の負担を少しでも軽減できるのであれば、それに越したことはありません。

ということで、市販のサポートスーツを装着してみると、如何程の効果が得られるのか、当場の試験研究の一貫として試験的運用をおこなっています。

装着してみると、以下の写真のようになります。



これを装着して、実際の作業をしている写真が、次になります。



底曳き網作業



ROV の持ち上げ

底曳き網作業は、写真（左）のように、網を引き上げる時に、腰への負担が大きくなります。隠れて見えませんが、カッパ（緑色の防雨着）の中に、サポートスーツを着けており、網を引き上げる際に、網が若干軽く感じられる効果がありました。

ROV（自航式水中カメラ：写真右）は、自重が 35 kgもあるので、持ち上げる際には腰に負担が掛かります。そこで、サポートスーツを装着して写真のように持ち上げると、底曳き網作業と同様に、ROV が若干軽く感じます。

結論として、船上作業でのサポートスーツ装着は、相応の効果があると確認できました。但し、過信は禁物であるということになりました。

このように、当场では、定置網漁業やシラス曳き漁業などに従事する方々の作業軽減に繋がる様々な試みを通じ、水産振興に努めてまいりたいと考えております。